

第15回三笠宮杯ツール・ド・とうほく要項 兼高校生男子海外派遣選考大会(案)

1. 開催趣旨 「三笠宮杯東北一周自転車競走大会」の歴史を受け継ぐ「三笠宮杯ツール・ド・とうほく」は、東北の豊かな自然を活用する自転車レースとして、全国に躍動的な東北のイメージをアピールするとともに、東北の観光資源、魅力を再発見し、東北の活性化を推進します。さらに、このイベントを通して、自転車による「健康づくり」、「精神づくり」を啓発し、サイクルスポーツの普及振興を図り、交通安全と道路愛護の啓蒙に貢献しつつ、わが国自転車産業の振興・発展に寄与しようとするものです。
2. 主催 (財)河北文化事業団 (財)日本自転車競技連盟
3. 主管 第15回三笠宮杯ツール・ド・とうほく実行委員会
河北新報社 NHK仙台放送局
全国高等学校体育連盟自転車競技専門部
東北自転車競技連盟
4. 後援 文部科学省 経済産業省 国土交通省東北地方整備局 日本自転車振興会
(財)日本自転車普及協会 (財)自転車産業振興協会
(社)自転車協会 青森県 秋田県 岩手県 山形県 福島県 宮城県
東北各県教育委員会 東北各県体育協会 会場地市町村教育委員会
東北各県高等学校体育連盟自転車競技専門部
宮城県サイクリング協会 東奥日報社 デーリー東北新聞社 岩手日報社
岩手日日新聞社 秋田魁新報社 山形新聞社 福島民報社
福島民友新聞社 日刊スポーツ新聞社東北総局 TBC 東北放送
仙台放送 宮城テレビ放送 東日本放送 Date fm (以上予定)
5. 特別協力 大瀧村 紫波町 仙台市
6. 協力 会場地市町村体育協会 会場地市町村所轄警察署
会場地市町村交通安全協会
7. 協賛 東北電力(株) (株)NIPPONコーポレーション (株)シマノ NEC (社)東北建設協会
(以上予定)
8. 期 日 平成19年8月16日(木)～19日(日)

9. 日程と場所

◇第1日 8月16日(木)

12:00~	役員打合せ	秋田ワシントンホテル(秋田市大町2-2-12)
14:00~15:00	チーム受付(ライセンスコントロール含む)	
15:30	監督会議	協働大町ビル
17:30	開会式	協働大町ビル

◇第2日 8月17日(金)・第1ステージ(秋田ステージ) / 個人トライアル 大湯村ソーラースポーツライン

9:15	女子/女子オープン	スタート	10.0 ^{キロ} (10 ^{キロ} ×1周)
10:00	男子高校生/男子高校生オープン	スタート	20.0 ^{キロ} (20 ^{キロ} ×1週)

◇第3日 8月18日(土)・第2ステージ(岩手ステージ) / 個人ロード 紫波町東部地区

8:00	男子高校生/男子高校生オープン	スタート	
	男子高校生		78.6 ^{キロ} (13.1 ^{キロ} ×6周)
	男子高校生オープン		52.4 ^{キロ} (13.1 ^{キロ} ×4周)
8:01	女子/女子オープン	スタート	
	女子		52.4 ^{キロ} (13.1 ^{キロ} ×4周)
	女子オープン		26.2 ^{キロ} (13.1 ^{キロ} ×2周)

◇第4日 8月19日(日)・第3ステージ(宮城ステージ) / 個人ロード

河北新報社本社前~仙台市泉区泉ビレジ+泉ビレジ周辺周回コース

なお、河北新報社本社前から仙台市泉区泉ビレジまでの18.5キロはパレード走行とし、一般参加も含めた仙台市との共催による「エコライド2007イン仙台」とする。

9:00	男子高校生/男子高校生オープン	スタート	
	男子高校生	河北新報社本社前~仙台市泉区泉ビレジ周辺周回コース	108.5 ^{キロ} (15.0 ^{キロ} ×6周+18.5 ^{キロ})
	男子高校生オープン	河北新報社本社前~仙台市泉区泉ビレジ周辺周回コース	78.5 ^{キロ} (15.0 ^{キロ} ×4周+18.5 ^{キロ})
9:01	女子/女子オープン	スタート	
	女子	河北新報社本社前~仙台市泉区泉ビレジ周辺周回コース	78.5 ^{キロ} (15.0 ^{キロ} ×4周+18.5 ^{キロ})
	女子オープン	河北新報社本社前~仙台市泉区泉ビレジ周辺周回コース	48.5 ^{キロ} (15.0 ^{キロ} ×2周+18.5 ^{キロ})
9:02	一般スタート	河北新報社本社前~仙台市泉区泉ビレジ	18.5 ^{キロ}

13:30 閉会式 東北高等学校泉校舎体育館 (予定)

10. 参加者

(1) 男子高校生の部

- (i) 選手 全国8ブロック(各1チーム) = 8チーム
東北ブロック(各県代表1チーム) = 6チーム 計14チーム
※1チーム6名×14チーム = 84名 計84名
(チーム最少スタート人数は4名とする。)
- (ii) 監督・コーチ
各チーム2名
(14チーム×2名=28名) 計28名

(2) 女子の部

- 日本自転車競技連盟が推薦する6チーム
その他、実行委員会が認めたチーム
- (i) 選手 1チーム4名×6チーム=24名 計24名
(チーム最少スタート人数は3名とする。)
- (ii) 監督・メカニシャン 各チーム2名とする
2名×6チーム=12名 計12名

※補欠は2名まで登録することができる。

※監督およびメカニシャン以外のチーム関係者(コーチ、マッサージャー等)は2名まで登録することができる。ただし諸経費は各チームの負担とする。

(3) オープンの部

開催地の男子高校生、女子選手のオープン参加を認める。
なお、参加は開催地県のレースのみとする。

(4) 一般の部

募集人数は100名とする。
なお、一般の部は、競技ではなく「エコライド2007イン仙台」(パレード走行)とし、交通規則遵守の上、走行する。

11. 参加料

男子高校生の部(選手1名)	2万1千円
女子の部(チーム)	12万円
オープンの部(選手1名)	2千円
一般の部(1名)	千円

12. 参加資格

男子高校生の部	平成19年度(財)日本自転車競技連盟登録競技者とする。
女子の部	男子高校生の部に準じる。
オープンの部	男子高校生の部に準じる。
一般の部	高校生以上の健康な方で、平坦地を時速20km程度で走行可能な者とする。

13. 参加申し込み

＜男子高校生の部、女子の部＞

所定の用紙により、下記宛て申し込むこと。なお、必ず副本（コピー可）を「第15回三笠宮杯ツール・ド・とうほく」実行委員会宛あてに郵送すること
エントリー締切り 7月14日（土）必着

男子高校生の部 〒350-0313 埼玉県比企郡鳩山町松ヶ丘4-1-2
埼玉県立鳩山高等学校 山口秀雄 宛
Tel: 049-296-5395 Fax: 049-298-1011 Mobile: 090-1500-9472

女子の部 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15
日本自転車競技連盟総務課 宛
Tel: 03-3582-3713 Fax: 03-5561-0508

両部門ともエントリーの際は、必ず副本（コピー可）を下記あて郵送すること。
〒980-8660 仙台市青葉区五橋一丁目2の28
（財）河北文化事業団内
「第15回三笠宮杯ツール・ド・とうほく」実行委員会宛
Tel: 022-211-1332 Fax: 022-211-1221

オープンの部 所定の用紙により、開催県競技連盟事務局宛に郵送で申し込むこと。
エントリー締切り 7月14日（土）必着

一般の部 所定の用紙により、上記「第14回三笠宮杯ツール・ド・とうほく」実行委員会宛あてに郵送で申し込むこと。参加料は下記口座にお振込みください。

◆振込先／七十七銀行 本店 普通預金 口座番号 9450572

口座名義 (財) 河北文化事業団 理事長 一カー夫 宛

エントリー締切り 7月31日（火）必着

14. 競技規則

(財) 日本自転車競技連盟に定めるもののほか、別に定める。
「第15回三笠宮杯ツール・ド・とうほく」大会規則による。

15. 競技方法

(1) 男子高校生の部

- (i) 団体総合 各チーム6名の選手を出走させ、各ステージの各チーム上位3名の累計時間により順位を決定する。
- (ii) 個人総合 各ステージのボーナス・タイムとペナルティ・タイムを考慮して計算した累計時間により順位を決定する。

(2) 女子の部

(i) 団体総合 各チーム4名の選手を出走させ、各ステージの各チーム上位2名の累計時間により順位を決定する。

(ii) 個人総合 各ステージのボーナス・タイムとペナルティ・タイムを考慮して計算した累計時間により順位を決定する。

(3) 一般・オープンの部

チーム編成は行わない。個人の出走とする。

16. 表彰

(1) 男子高校生の部 イ) 団体総合優勝チームに三笠宮杯及び賞状・メダル、2、3位に賞状・メダルを授与する。個人総合優勝者にNHK杯及び賞状・メダルならびにNEC特別賞、2、3位に賞状・メダルを授与する。

ロ) 東北六県対抗団体総合優勝チームに河北銀輪旗を授与する。

(2) 女子の部 団体総合優勝チームに河北杯及び賞状・メダル、2、3位に賞状・メダルを授与する。個人総合優勝者に河北杯及び賞状・メダル、2、3位に賞状・メダルを授与する。

(3) 各ステージ 男子高校生の部、女子の部の個人優勝者にジャージ、賞杯及び賞状を授与する。

17. その他

<男子高校生>

(1) 参加補助 勤務先または在学校の最寄駅から集合地までと解散地からの往復交通費片道500^千円未満の場合、JR運賃(学生については学割適用)を支給する。片道500^千円以上の場合、原則的には航空運賃(割引料金)を支給する。だが、事務局が路線の方が空路より利用に適していると判断した場合、JR運賃(学生については学割適用)を支給する。

(2) 大会期間中の宿泊負担金は男子高校生の部は1人1泊8千円、女子の部は1万円とする。(宿舎は主催者が指定する)。

(3) 参加選手は主催者から支給されるゼッケン及びヘルメットキャップ、ナンバープレートを着用すること。

(4) 参加選手は統一されたユニフォームを着用すること。

(5) スペアホイールの提供 男子高校生の部参加チームは1ペアのスペアホイールを大会期間中提供すること(大会終了時に返却)。

<女子の部>

(1) 参加補助(1人当たり)

<交通費現金支給の場合>

勤務先または在学校の最寄駅から集合地までと解散地からの往復交通費を支給する。但し、支給上限は往復5万円とする。条件は、片道500^千円未満の場合、JR運賃(学生については学割適用)。片道500^千円以上の場合、原則的には航空運賃(割引料金)を支給する。だが、事務局が路線の方が空路より利用に適していると判断した場合、JR運賃(学生については学割適用)を支給する。

<交通費チケット支給の場合>

勤務先または在学校の最寄駅から集合地までと解散地からの往復交通費を現物支給する。チケットとは、航空券、乗車券をいう。支給上限は設けない。条件は現金支給に準ずる。なお、現物支給を希望する者は下記まで7月14日（土）までに申し込むこと。

株JTB東北 団体旅行仙台支店
「ツール・ド・とうほく」係 担当:谷地田
TEL:022-263-6712 FAX:022-263-6693
E-MAIL: sendai_convention2@Jtb.Jp
営業時間:平日9:30~17:30 休み/土・日・祝

- (2) 大会期間中の宿泊負担金は1万円とする。(宿舎は主催者が指定する)。
- (3) 参加選手は主催者から支給されるゼッケン及びヘルメットキャップ、ナンバープレートを着用すること。
- (4) 参加選手は統一されたユニフォームを着用すること。

<オープンの部>

- (1) 集合・解散は、各ステージのスタート/フィニッシュ地点とする。参加者の集合および解散後の交通費は、参加者負担とする。
- (2) 参加者の傷害保険は、実行委員会が負担する。
- (3) 交通事情により走行を途中で打ち切ることがある。
- (4) 参加者全員に参加賞を授与する。
- (5) 競技規則は、(財)日本自転車競技連盟が定める競技規則による。

<一般の部>

- (1) 集合は河北新報社(宮城県仙台市青葉区五橋1-2-28)とする。解散はゴール地点の館コミュニティセンターとし、現地解散とする。参加者の集合および解散後の交通費は参加者負担とする。
- (2) 参加者の傷害保険は、実行委員会が負担する。
- (3) 必ずヘルメットを着用すること。
- (4) 交通事情により走行を途中で打ち切ることがある。
- (5) 参加者全員に参加賞を授与する。

以 上